

山口蓬春邸など登録へ

答 文化審  
申 国有形文化財に県内5件

登録有形文化財（建造物）に山口蓬春記念館（旧山口蓬春邸）主屋と画室（葉山町）など県内5件（3カ所）を登録するよう永岡桂子文部科学相に答申した。登録されると県内の国登録有形文化財は308件（160カ所）となる。

県内で登録を受けたのはこのほか、松永記念館無住庵（小田原市）、本多家住宅（旧中上川家住宅）主屋、本多家住宅（旧山本家住宅）門と塀（いずれも鎌倉市）。山口蓬春記念館主屋は日本画家山口蓬春が大正前期建築の建物を購入し、建築家吉田五十八の設計で茶の

間棟や風呂棟を増築した。繊細な道具や床の納まりで和室とベランダの連続性を実現している。主屋西側の画室は1953年に吉田の設計で増築され、柱や梁を壁面で覆い隠す「大壁造り」や天井までの引き込み障子などが目を引く。

松永記念館無住庵は、「電力の鬼」と称された実業家松永安左エ門の田舎家風茶室。民家の古材を利用して55年ごろ建造したとみら

間棟や風呂棟を増築した。繊細な道具や床の納まりで和室とベランダの連続性を実現している。主屋西側の画室は1953年に吉田の設計で増築され、柱や梁を壁面で覆い隠す「大壁造り」や天井までの引き込み障子などが目を引く。

松永記念館無住庵は、「電力の鬼」と称された実業家松永安左エ門の田舎家風茶室。民家の古材を利用して55年ごろ建造したとみら

れ、2020年に現在の場所へ移築復元した。本多家住宅主屋は1929年に建築された、鎌倉の旧別荘地に残る近代和風住宅。2階南面にガラス屋根

が、解決の糸口がつかめない中、若い世代で返還運動への関心が薄れつつある」と危機感を伝えた。神奈川の中高生からは、ロシアのウクライナ侵攻が返還交渉に与える影響を問う声などが上がった。

作文コンクールで最優秀賞を受賞した新羽高校1年の石原美優羽さん(16)は、「私たちの世代が問題の理解を深め、伝えていく役割解を深め、伝えていく役割を果たさなければならぬ」と感じた」と話した。

# 北方領土問題 理解を 北海道の高校生と意見交換



## 中高生による北方領土問題の意見交換会 =ワークピア横浜

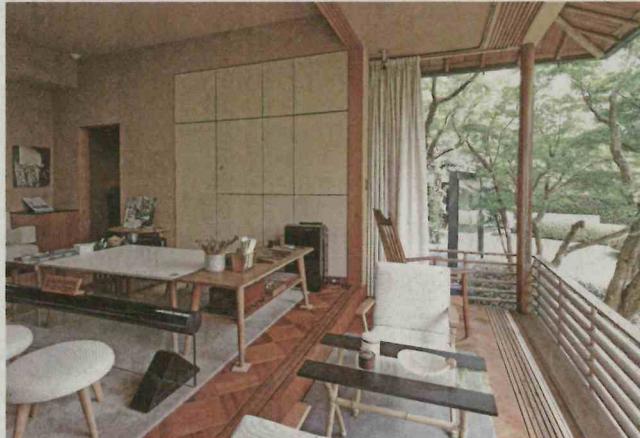
北方領土問題への理解を  
若い世代に広げようと、神  
奈川と北海道の中高生が18  
日、オンラインで意見交換  
した。北方領土返還要求連  
動神奈川県民会議と県北方  
領土問題教育者会議が今  
夏、県内中高生を対象に募  
集した北方領土問題をテー  
マにした作文コンクールの

入賞者14人が参加。地元でこの問題に向き合う北海道根室高校の生徒3人とオンラインで歴史的な経緯や返還交渉の実情などについて意見交換し、理解を深めた。

北海道根室高校の生徒は元島民の平均年齢が86歳を超えたことを踏まえ「一刻も早い返還実現が重要だ

でいくことが重要」と訴え  
た。作文コンクールの入賞者は本来、北海道を訪問して北方領土の現状を学ぶ予定だったが、新型コロナウイルス禍で見送られ、代わりに今回の意見交換会が開催された。(大槻和久)

開放感あふれる山口蓬春記念館画室  
=葉山町一色(同町提供)



鎌倉の旧別荘地に残る本多家住宅の主屋  
＝鎌倉市小町2丁目（同市提供）



集した北方領土問題をテーマにした作文コンクールの

(大槻和久)